

2026 年度重点事業計画

重点事業 1. 今後の看護学教育のありかたを構想し、具体的な発展の道筋を構築する

2026 年度のとりのくみ

- 1) 日本看護系大学協議会実習前 CBT (JANPU-CBT) 実証事業の実装をめざし、看護学教育モデル・コア・カリキュラムに示された資質・能力に基づく看護実践能力評価基準の確定および CBT 問題作成支援システム開発と実用化を進める
- 2) 看護学教育モデル・コア・カリキュラム令和 6 年度改訂版 (コンピテンシー基盤型教育) の普及・啓発活動を行う
- 3) 看護学教育モデル・コア・カリキュラム令和 6 年度改訂版に対応した「参加型臨地実習ガイドライン」および「OSCE ガイドブック」を作成する
- 4) 「感染症等に強い人材育成」に向けた e-learning 教育プログラム (大学院/リカレント教育) の開発および実用化を促進する
- 5) 中央教育審議会答申 (2025 年) をふまえ、新たな認証評価制度検討に関する情報を収集し、会員校へ提供と共有を行うとともに、18 歳人口減少時代の看護人材の育成について、会員校が直面する課題を把握し、教育の質保証にむけた支援を検討する

重点事業 2. 高度実践看護のありかたを構想し、具体的な発展の道筋を構築する

2026 年度のとりのくみ

- 1) 大学院博士後期課程での DNP コースの設置を推進するための活動を開始する
- 2) 他機関と協働して、方針案に基づき、APN グランドデザインを策定し、APN 教育制度改革を進める
- 3) 他機関との協働のもとでナース・プラクティショナー (仮称) の資格制度化が実現するよう積極的に活動する
- 4) 高度実践看護師教育課程 (CNS/NP) 共通科目 e-learning 教材制作の検討を行う

重点事業 3. 効果的な協議会活動を実現する組織運営および関連団体との協働を行う

2026 年度のとりのくみ

- 1) 日本看護協会、日本私立看護系大学協会と協働するとともに、文部科学省や厚生労働省等に要望書を提出する
- 2) 委員会の業務内容について選択と集中を見極め、新しい組織のありかたを検討する
- 3) 2028 年度から JANPU-CBT 事業の実装に向け、持続可能な組織体制を整備するために、常任理事 2 人体制を導入して準備を開始する